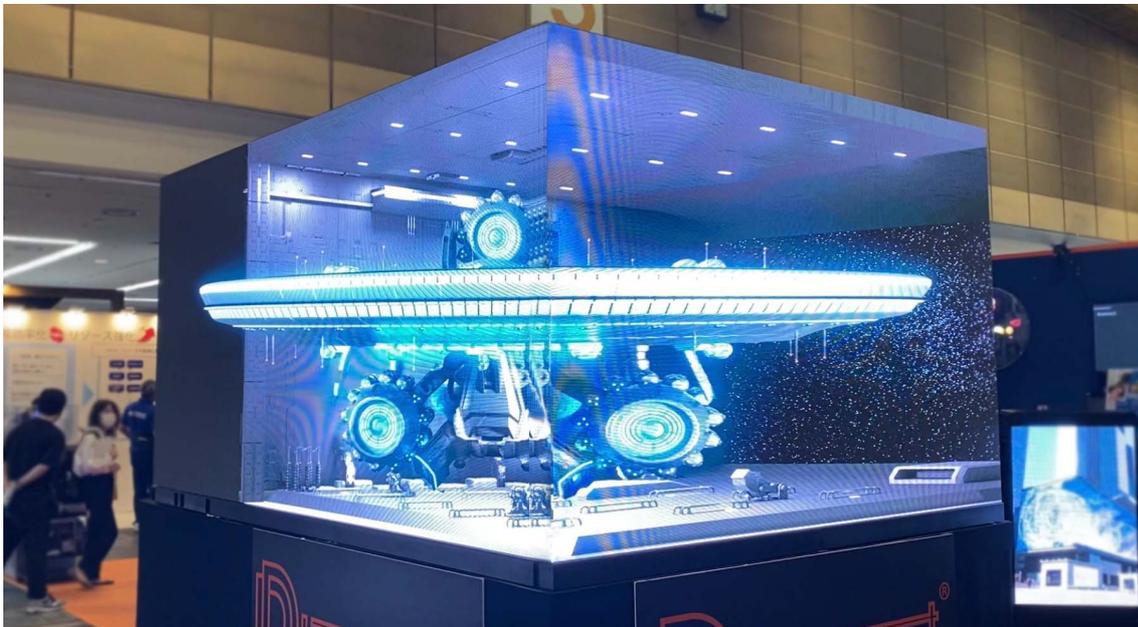


## 明治大学 杉原教授×Droots 【Dimpactトリックアートサイネージ】を関西看板EXPOに掲出しました。

インテックス大阪で行われた展示会にて、株式会社Drootsは、明治大学研究特別教授杉原厚吉氏にご監修いただき、錯視を利用したトリックアート映像のLEDディスプレイ掲出を行いました。

3次元映像投影システムは、Dimpact®デジタル・サイネージシステムの開発と販売を行うスタートアップ企業の株式会社Droots（本社：東京都千代田区、代表取締役：土井大輔、以下Droots）が、杉原厚吉教授(明治大学研究特別教授、工学博士)ご監修のもと、関西看板ディスプレイEXPO（9/29～10/1 インテックス大阪）にてLEDによるトリックアートサイネージを掲出、展示しました。目の錯覚を利用した #浮き出るサイネージは、多くの人の足を止める効果があり、集客の効果が見込める展示品となりました。

〔看板ディスプレイEXPOに登場した宇宙船の発着口〕



### 【イベント概要】

第2回関西 看板・ディスプレイEXPO

開催日:2021年9月29日～10月1日（三日間）

会場名:インテックス大阪

### 【実施した内容】

DrootsのDimpactトリックアートサイネージは、人間の目の錯覚を利用して”ある角度になると映像が飛び出して見える”サイネージ演出です。

2次元の平面LEDビジョンを壁面の角、2面に設置することで演出する、不思議で誰しもが驚く新しいサイネージアートです。

LEDビジョンに投影されている3次元のCG映像は、実際には平面ですが、飛び出て感じます。

当社では、3DCG映像の錯視デザイン監修として、世界錯覚コンテスト（Best Illusion of the Year Contest）で通算4回の優勝を獲得している世界的パイオニア、錯視創作の第一人者である明治大学の杉原教授に監修いただいております。興味関心を最大限に引きだし、SNS投稿、口コミ拡散、新規顧客の開拓、誘導を促したいエリアへの集客の効果が見込め、店舗や企業様の売上アップに貢献いたします。

